



東南アジア4カ国のスタッフが語る 森づくりの現場から見える生物多様性



いま生物多様性の保全が強く叫ばれています。それはさまざまないのちが個性豊かにつながって、ささえあうこと。オイスカ「子供の森」計画では、その当たり前のように、かけがえない豊かさが将来にわたって守られるよう、子どもたちが木を植え、育て、森の大切さを学ぶ環境教育を進めています。

今回、東南アジアの4カ国（インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイ）から「子供の森」計画のコーディネーターが来日。それぞれの国の環境課題や、その解決のために子どもたちと取り組む活動について語ります。ふるさとの未来を守るため、現場で取り組むスタッフたちの生の声を聞いてみませんか？ 皆さまのご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5
公益財団法人オイスカ 「子供の森」計画担当
TEL : (03)3322-5161 FAX: (03)3324-7111
MAIL: cfp@oisca.org



10/24 木

場所 | 大垣フォーラムホテル
(岐阜県大垣市万石2丁目31)

時間 | 18:00~19:15

参加費 | 無料 | 言語 | 日本語

■プログラム

- 18:00 開会挨拶
- 18:05 「子供の森」計画紹介
- 18:10 コーディネーター自己紹介
- 18:15 国ごとの活動紹介、質疑応答
- 19:10 閉会挨拶

- 主 催：オイスカ岐阜県支部・東京本部
- 共 催：オイスカ大垣推進協議会

お申し込み方法

専用フォームまたはFAX(裏面参照)
からお申込みください

▶締め切り 10/20 (日)



専用フォーム

登壇者紹介

インドネシア

エギ



インドネシアの各地で展開する「子供の森」計画を統括する全国コーディネーター
日本語：○

マル



降雨量が少なく、水保全の課題を抱える東ジャワ州マドゥラ島での活動を担当。初来日
日本語：× ※通訳有

タイ

オップ



バンコク事務所で働く傍ら、バンコクにほど近いアユタヤ県での活動を担当するコーディネーター
日本語：△

サマイ



乾燥や土壌劣化の課題を抱えるタイ東北・スリン県での活動を担当。通訳としても活躍
日本語：◎

マレーシア

フローリアン



ボルネオ島・サバ州にあるKPD/オイスカ青年研修センターを拠点に活動を進めるコーディネーター
日本語：○

ミャンマー

イー



中央乾燥地帯にあり、乾燥や水不足の課題を抱えるビョーボエ郡での活動を担当。研修センターの総務や経理も担当
日本語：○

オイスカは、国内外で住み続けられる地域づくりを目指して、環境保全や人材育成に取り組んでいます。今回は、東南アジアの4か国より、オイスカの研修を修了し、現在は「子供の森」計画の現場で活躍するコーディネーターが来日します。是非会場に足を運んでいただき、子どもたちを対象とした森づくりや環境教育に携わる彼らの報告を聞いていただければ幸いです。

オイスカ岐阜県支部 会長 小川信也（太平洋工業株式会社 代表取締役会長）

「子供の森」計画とは？

公益財団法人オイスカ(国際協力NGO)が取り組む「子供の森」計画(CFP: Children's Forest Program)は、子どもたち自身が学校や地域で苗木を植え、育てていく活動を通して、「自然を愛する心」や「緑を大切にできる気持ち」を養いながら緑化を進めていくプログラムです。1991年にフィリピンの17校から始動したプログラムは、世界中でさまざまな環境問題が深刻化する中で年々各地からの活動要請が増え、2023年度末現在で、37カ国5,572校に広がっています。



「子供の森」計画HP



Children's Forest Program
「子供の森」計画

参加申込書

FAXでお申込みの方は、こちらの申込書にご記入の上、ご送信ください

FAX送信先

▶ 03-3324-7111

お名前		所属	
部署名		役職	
ご住所			
メールアドレス		電話番号	

※いただきました個人情報は、当法人からの各種案内の送付等に使用させていただきます。予めご了承の上、お申し込みください。利用の詳細はHP (<https://oisca.org/privacy-policy/>) をご確認ください。